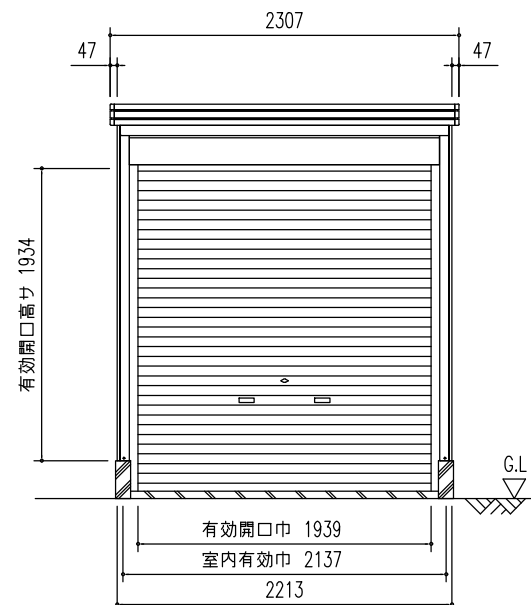
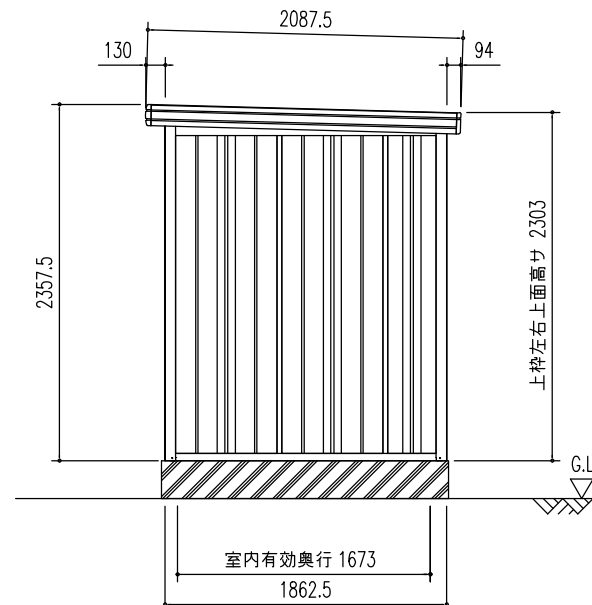
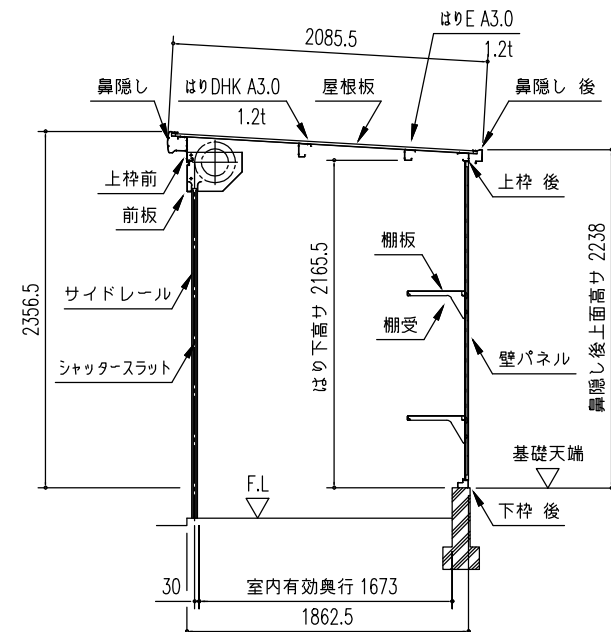




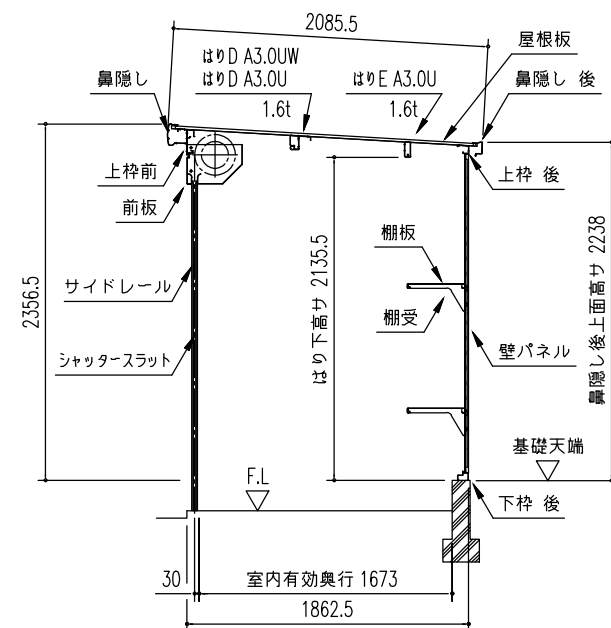
正面立面图 (S = 1/50)



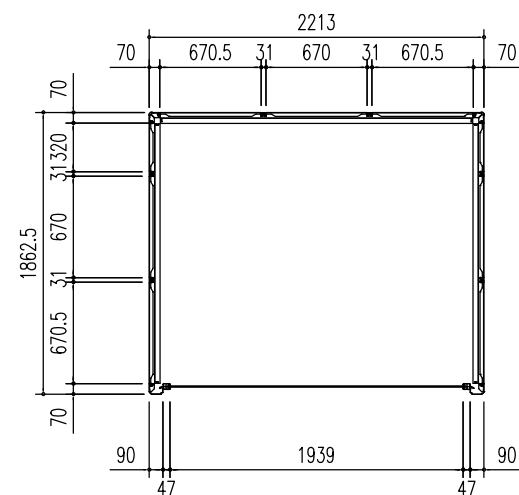
側面立面図 (S = 1/50)



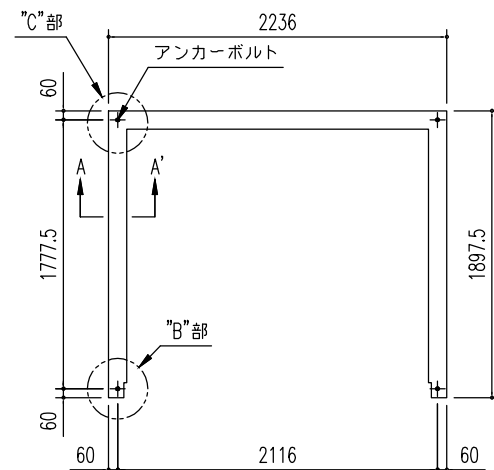
一般型矩計図 (S = 1/50)



豪雪型矩計図 (S = 1/50)



平面図 (S = /50)



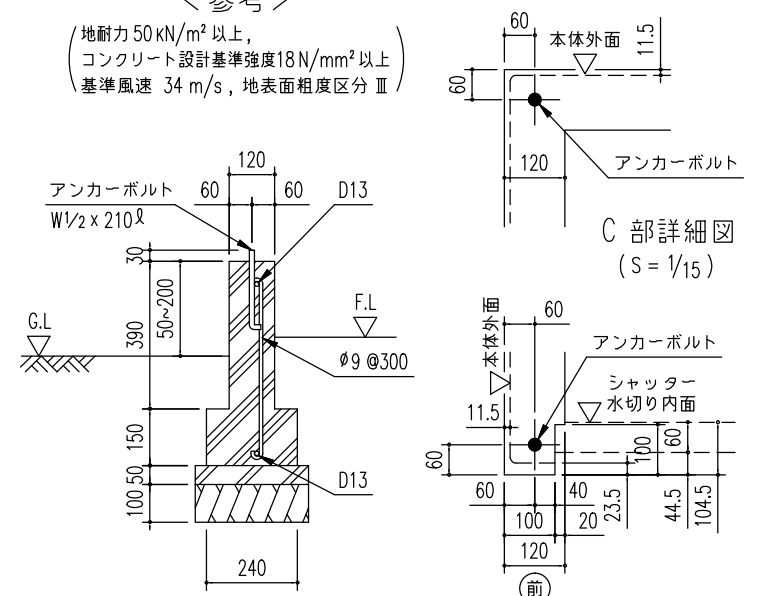
布基礎伏図 (S = 1/50)

部 材 名	厚さ(㎜)	材 質
屋 根 板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<一般型>はり DHK A3.0	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<一般型>はり E A3.0	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<豪雪型>はり D A3.0UR	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<豪雪型>はり D A3.0U	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<豪雪型>はり E A3.0U	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
下 杵 側 <豪雪型>	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
下 杵 後・下 杵 側 <一般型>	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 杵 前 (後)	1.0(0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 杵 左 右	0.8	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (ツートンカラー)
上 杵 補 強	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し前	0.6	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (ツートンカラー)
鼻隠し後	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
柱・前、(後)	1.0(0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
棚 板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
前 板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッター水切り	—	アルミニウム金押出成形材
壁 パネル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間 柱	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC

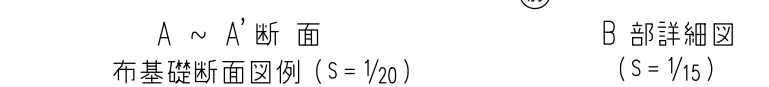
部 材 名	サイズ（巾×高さ）
壁パネル H-A	670 x 2110
壁パネル H-F	319.5 x 2110

＜参考＞

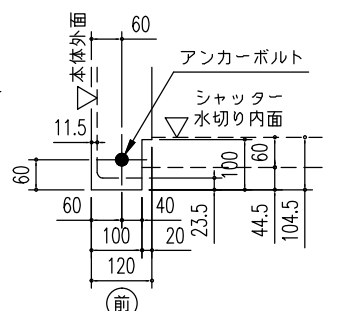
(地耐力 50 kN/m^2 以上,
コンクリート設計基準強度 18 N/mm^2 以上)
基準風速 34 m/s , 地表面粗度区分Ⅲ)



C 部詳細図
(S = 1/15)



A ~ A' 断面
布基礎断面図例 (S = 1/20)



3 部詳細図
(S = 1/15)

注1) 地耐力が 50 kN/m^2 未満 (30 kN/m^2 以上) の場合、底盤幅を 300 mm とし、かつ補強筋を入れて下さい。

注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

注4) 土間仕上げ (F.L.) は、参考例です。

注5) 有効高サハ、基礎高サ含ミマセン。

注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

注4)土間仕上げ(F.L)は、参考例です。

注5) 有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

名 称	ヨド物置エルモ シャッター	株式会社 淀川製鋼所
機種名	LOC(U) -2218HD型<土間タイプ>	